

志津見ダム水源地域ビジョン

笑顔と活気あふれるしあわせの里 ～志津見湖～



平成 30 年 4 月

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

「志津見ダム水源地域ビジョン」を推進しています！

水源地域ビジョンは、ダムを活かした水源地域の自立的継続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定する水源地域活性化のための行動計画です。

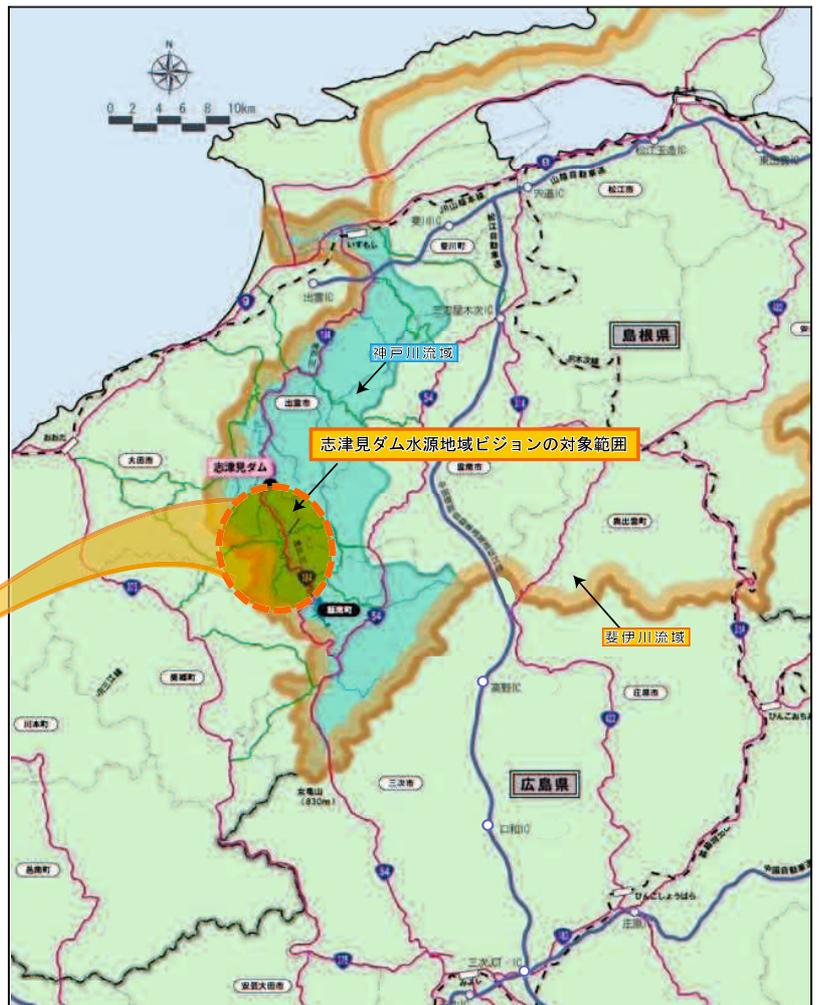
「志津見ダム水源地域ビジョン」は、平成23年6月に志津見ダムが完成し維持・管理に移行したことを節目として、これまでに整備された施設の活用を促進するため、今後の地域活性化の方向性をより具体化し、地域の更なる発展に寄与することを目的としています。

ビジョンの策定にあたっては、地元住民、飯南町、島根県、国土交通省による「志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会」が、地元住民や地域活動団体が参加した「志津見ダムの活用を語る会」から意見・提案を受けて審議し、平成24年3月13日に策定しました。

その後、実行支援やフォローアップのため、「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」や「志々を元気にする会」を組織し、関係機関と協力・連携を図りながら、地域の目標像の実現に向け、基本理念や3つの基本方針に基づく各種アクションプランを推進しています。

1 志津見ダム水源地域ビジョンの対象範囲

志津見ダム水源地域ビジョンの対象範囲は、志津見ダム周辺を基本としますが、飯南町域や神戸川流域等も念頭に置いて、地域活性化に向けた活動の内容に応じて柔軟に設定します。



2 基本理念・地域の目標像・基本方針

志津見ダム水源地域ビジョンでは、地域における活性化に向けた取り組みの内容や地域の有する資源の現状などをふまえて、基本理念と地域の目標像を掲げました。この目標の実現に向けて、以下の3つの基本方針を定めています。

基本理念

志津見ダム水源地域では、志津見ダムをはじめとした様々な地域資源を活かし、地域に暮らす人々が自らの幸せな将来のために力をあわせて、流域全体と連携しながら地域の活性化を進めていくこととします。

基本方針 1

美しい ふるさとづくり

歴史と文化に彩られた神戸川水源に広がる豊かな自然を守りつつ、志津見ダムによる新たな風景を活かしながら、みんなが暮らす美しい里山環境の形成を図ります。



志津見大橋から望む
東三瓶フラワーパレー

基本方針 2

明るく元気で 豊かな ふるさとづくり

志津見ダム周辺に整備された施設をはじめ伝統・文化などの地域資源や、地域の農林水産業などを活かし、みんなが明るく元気に暮らせるような活力向上を目指します。



うぐいす茶屋

基本方針 3

人が集まる ふるさとづくり

神戸川の水で結ばれた地域の人々や、志津見ダム周辺を訪れる人々みんなが集い、語り合い、楽しめるような「場」や「しくみ」、「魅力」づくりを進めます。

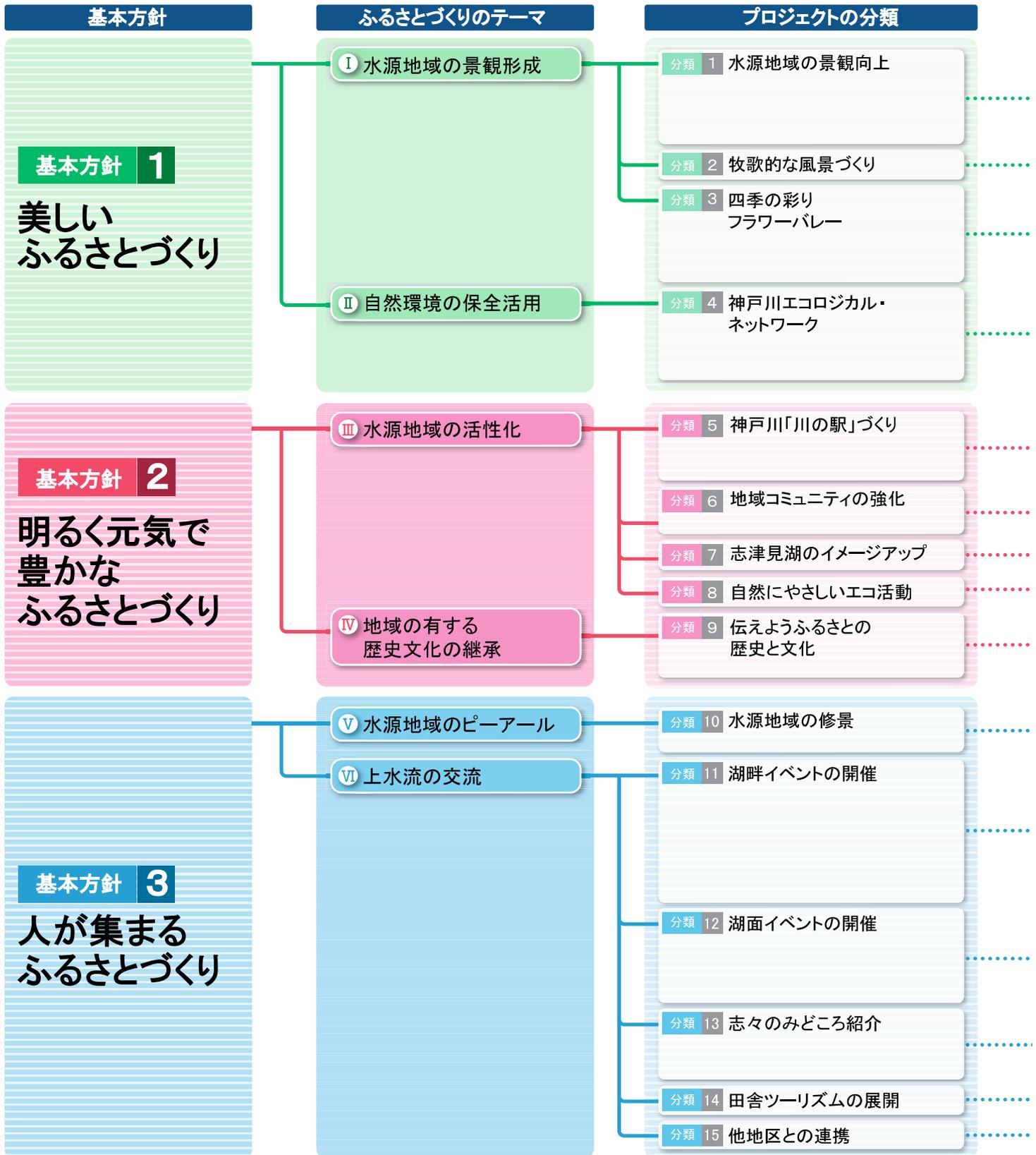


やまめの溪「じゃぶじゃぶ池」での
やまめのつかみ取り

地域の目標像

みんなで作る みんなのふるさと
笑顔あふれる しあわせの里

■ アクションプランの体系



アクションプラン

早期 (平成24～26年度内の着手を目標)

中期 (平成27～29年度内の着手を目標)

後期 (平成30～33年度内の着手を目標)

1-1 河川と道路の清掃活動		
1-2 クリーンウォーク		
1-3 町有林による景観美化		
1-4 草刈り研修会		
	2-1 家畜の放牧	
		3-1 夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出
		3-2 フラワーバレーに山林草鑑賞エリアを整備
3-3 彩りの森の紅葉をライトアップ		3-4 一軒一鉢運動を展開
4-1 水生生物による簡易水質調査の実施	4-1 子供向け環境学習会の実施	
4-2 自然観察会	4-2 水辺で遊べる場づくり	
4-3 山の恵み学習会		
4-4 水辺で遊べる場づくり		
5-1 青空市の活性化	5-2 憩いの場の充実	
	5-3 特産品の開発	
6-1 地域懇親会の開催	6-2 七夕祭り	
7-1 イメージキャラクターの活用		
	8-1 水源地域の自然にやさしいエコ活動の展開	
9-1 食文化伝承レシピの作成		9-2 遺物の展示
9-3 民具の展示		
	10-1 サインの設置による水源地域の明示	10-2 草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり
11-1 ポピー祭・コスモス祭開催		11-2 野外コンサート
		11-3 ナイトバザール
11-4 志々ファンクラブ		
11-5 シンボル オブジェクト作り	11-6 サイクリング	
12-1 湖面巡視体験		12-2 カヌー教室
12-2 カヌー教室(PTA対象)		12-3 魚つり大会
	12-4 ラジコンボートレース大会	
	13-1 手作りみどころ案内板	
13-2 マップ(パンフレット)づくり		
13-3 フォトコンテストの開催		
	14-1 田舎体験	
	15-1 広域的な連携検討	

早期に着手したアクションプラン数:21件

中期に着手したアクションプラン数:13件

後期に着手するアクションプラン数:9件

アクションプランの内容

基本方針 1 美しいふるさとづくり

ふるさとづくりのテーマ I 水源地域の景観形成

プロジェクト|分類 1 水源地域の景観向上

上流地域の住民や団体と関係機関が協働で清掃に取り組むことで地域の連帯感を高めるとともに、フラワーバレー周辺の景観向上をめざす。

分類 1-1 河川と道路の清掃活動

着手時期 早期

概要 地域住民だけでなく、神戸川の流域住民にも参加を募り、河川内や沿道の草刈りやゴミ拾いなどの景観保全活動を実施
後期では、地元団体への声かけやボランティア等の協力要請を検討



住民参加の清掃活動

分類 1-2 クリーンウォーク

着手時期 早期

概要 地域の自然環境や歴史文化についての情報を提供しながら清掃活動を行う『クリーンウォーク』を企画
早期からの企業CSRによる草刈り、ゴミ拾いを継続し、定着化を目指す



企業CSR活動

分類 1-3 町有林による景観美化

着手時期 早期

概要

町有林の整備を自然保護、景観保全の施策として捉え、広葉樹や紅葉する樹種を部分的に導入



権現大橋付近の町有林の状況

分類 1-4 草刈り研修会 (機械の展示販売、デモンストレーション)

着手時期 早期

概要 草刈り道具の使用法や効果的な草刈りの手法を学ぶことができる草刈り研修会の開催



草刈り研修会

プロジェクト|分類 2 牧歌的な風景づくり

家畜を放牧することで、新たに牧歌的な風景を創出するとともに、河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源有効活用を行う。

分類 2-1 家畜の放牧

着手時期 中期

概要

- 牛、羊、山羊などの家畜を放牧することで、新たな河川景観を創出
- 河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源の有効活用
- 中期では、牛や山羊の試験放牧を実施



家畜の放牧(牛の試験放牧)

プロジェクト|分類 3 四季の彩りフラワーバレー

ポピー(春)とコスモス(秋)だけでなく、夏の花も花壇に導入し、年間を通じている花畑となるように整備する。

分類 3-1 夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出

着手時期 後期

概要 ポピー(春)とコスモス(秋)だけでなく、ヒマワリなど夏の花や多年生の品種等の導入を検討し、年間を通じて花が咲いている花畑を整備



ポピーの花畑(春)

分類 3-2 フラワーバレーに山野草観賞エリアを整備

着手時期 後期

概要 フラワーバレーの新たな花壇として、山野草を鑑賞・学習できるエリアを整備



山野草が観賞できる花壇

分類 3-3 彩りの森の紅葉をライトアップ

着手時期 早期

概要 紅葉時期に、彩りの森の紅葉をライトアップで演出あわせて志津見ダムライトアップ(点灯試験)も実施



彩りの森のライトアップ

分類 3-4 一軒一鉢運動を展開

着手時期 後期

概要 地区内で一軒に一鉢ずつ花を育ててもらい「一軒一鉢運動」を展開し、栽培講習会なども開催しながら景観を形成



一軒一鉢運動を展開

ふるさとづくりのテーマ II 自然環境の保全活用

プロジェクト|分類 4 神戸川エコロジカル・ネットワーク

周辺整備施設を活用した自然体験や神戸川流域を対象とした環境学習を実施し、神戸川流域で一体となった取り組みを行う。

分類 4-1 子供向け環境学習会の実施

着手時期 早期

概要 早期では、地元や上下流の子供たちを対象にした「水生生物による簡易水質調査」や「自然観察会」、「山の恵み学習会」などを実施
中期では、これらの学習プログラムを組み合わせ、より魅力的な子供向けの環境学習会として実施



そば打ち体験



やまめのつかみ取り



体験学習と連携したダム見学

分類 4-2 水辺で遊べる場づくり(既存施設の活用)

着手時期 早期

概要 水辺公園エリア(志々小前~さつき会館)を利用し、水遊びや川下り、体験・学習会等ができる環境を主たる利用者(地域住民)とともに検討し、整備



葎の除去後の水遊び風景

「エコロジカル・ネットワーク」:貴重な自然を保全するとともに、細切れになった自然をつなぎ、生き物の移動経路を確保したり、自然の働きを回復させることによって、豊かな自然を再現しようとする取り組み。

基本方針 2 明るく元気で豊かなふるさとづくり

ふるさとづくりのテーマ III 水源地域の活性化

プロジェクト|分類 5 神戸川「川の駅」づくり

地区内で生産している農林水産物をうぐいす茶屋で販売するための仕組みをつくり、地区の特産品としてのイメージを向上させることで、うぐいす茶屋の集客力を高める。

分類 5-1 青空市の活性化

着手時期 早期

概要 地区内で生産している農林水産物や特産品をうぐいす茶屋の「青空市」で販売



青空市

分類 5-2 憩いの場の充実

着手時期 中期

概要 うぐいす茶屋横や古宮の名木周辺の公園化やキャンプスペースの提供などを検討



志々の桜広場を憩いの場として活用

「川の駅」「道の駅」のように国土交通省の認定施設ではないが、川沿いにあり、道の駅と同じように駐車場、トイレ、特産品販売など機能を持つ施設を一般的に「川の駅」と称している。

分類 5-3 特産品の開発

着手時期 中期

概要 薬草栽培による十五茶や、堆肥を利用したエコ米の生産、手作り豆腐などを通じて、自然農法をアピールし、地区の特産品としてイメージ化。中期では、豆腐ムースや米粉サブレなどの特産品を開発し販売。また、ダム貯蔵酒「治酔」のダム施設内での貯蔵、熟成を試行的に開始。



特産品開発
(左:うぐいす茶屋の特産品販売、右:志津見ダム貯蔵酒“治酔”)

プロジェクト|分類 6 地域コミュニティの強化

地区内での親睦を深めることにより、情報の共有や連帯感の醸成に結びつける。

分類 6-1 地域懇親会の開催

着手時期 早期

概要 ・若者、壮年期を中心に自治区、公民館と協力して、イベントにからめた開催を実施
・右記の施策の具体化を意見交換テーマとして活動
・後期では、水源地域の自立的・継続的な活性化を意見交換テーマに追加して活動



志々公民館まつり

意見交換
テーマ

- 分類 4-1 子供向け環境学習会の実施
- 分類 7-1 イメージキャラクターの活用
- 分類 13-2 マップ(パンフレット)づくり

分類 6-2 七夕祭り

着手時期 中期

概要 地域住民に広く参加を募り、フラワーバレー等で竹灯籠を使った七夕祭りを開催



七夕祭りで笹に短冊を取り付ける子供たち

プロジェクト|分類 7 志津見湖のイメージアップ

志津見湖のイメージアップやPRを行う。

分類 7-1 イメージキャラクターの活用

着手時期 早期

概要 既存のイメージキャラクターの活用や子供たちへのアイデア募集などにより、親しみやすい志津見湖のイメージ化



イメージキャラクターの顔出しパネル設置

プロジェクト|分類 8 自然にやさしいエコ活動

水源地域の自然にやさしい、エコな活動を展開する。

分類 8-1 水源地域の自然にやさしいエコ活動の展開

着手時期 中期

概要 竹の粉碎チップの利用、古木の再利用など、水源地域の自然にやさしいエコな活動を展開し、エコの町としてアピール



水車を利用したエコ活動

ふるさとづくりのテーマ IV 地域の有する歴史文化の継承

プロジェクト|分類 9 伝えよう ふるさとの歴史と文化

地区の歴史文化をうかがい知ることができる民具や遺跡発掘物を展示する。

分類 9-1 食文化伝承レシピの作成

着手時期 早期

概要 ・早期では地元の食文化伝承レシピ本を制作
・うぐいす茶屋でのメニュー化を検討
・家庭の味まつりは継続



家庭の味まつり

分類 9-2 遺物の展示

着手時期 後期

概要 ・地区の歴史文化をうかがい知ることができる遺跡発掘物の展示会などの開催
・遺物の里帰り展示会などの開催



さつき会館での遺物の常設展示

分類 9-3 民具の展示

着手時期 早期

概要 ・保管されている民具の一部をうぐいす茶屋や青空市のディスプレイに活用
・ホビー祭、コスモス祭、志々公民館まつりなどのイベント時の展示



うぐいす茶屋での常設展示

基本方針 3 人が集まるふるさとづくり

ふるさとづくりのテーマ V 水源地域のピーアール

プロジェクト|分類 10 水源地域の修景

国土交通省や県の制度を活用して、サインの設置のほか、プランターの設置や草花、花木植栽に取り組み、水源地域の明示や水源地域へのゲート演出をめざす。

分類 10-1 サインの設置による水源地域の明示

着手時期 中期

概要
・サインの設置によって水源地域を明示
・看板にストーリー性を持たせて、楽しみながら読める仕組みづくり



分類 10-2 草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり

着手時期 後期

概要
・案内看板の周りに花壇の整備やプランターの設置など、草花・花木の植栽によって水源地域へのゲートを演出



ふるさとづくりのテーマ VI 上下流の交流

プロジェクト|分類 11 湖畔イベントの開催

ポピー祭・コスモス祭だけではなくフラワーバレーの湖畔を利用した新たなイベントを企画、開催し、上下流の交流の場として水源地域の魅力アピールするとともに、周辺施設への集客等の波及効果をねらう。

分類 11-1 ポピー祭・コスモス祭開催

着手時期 早期

概要
・ポピー祭、コスモス祭の開催
・イベント開催時には、湖面巡視体験や、ダム見学、発電所見学などを実施



分類 11-2 野外コンサート

着手時期 後期

概要
フラワーバレーやダム展望広場などを会場に、アーティストや地域の学校の吹奏楽部、地元バンドなどによる野外コンサートを開催



分類 11-3 ナイトバザール

着手時期 後期

概要
ホテルや星などがきれいな時期に、夜間に観察会や紅葉のライトアップの観賞などを兼ねて地元の産品などを販売



分類 11-4 志々ファンクラブ

着手時期 早期

概要
・クラインガルテンの会員OBなどを中心にファンクラブを結成
・情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築



分類 11-5 シンボルオブジェ作り

着手時期 早期

概要
・「案山子」を地域のシンボルと位置付け、地域の魅力向上を目指す
・具体的な「案山子」の管理システムも検討し、積極的に作成、設置



分類 11-6 サイクリング

着手時期 中期

概要
フラワーバレーの湖畔を利用したサイクリング試乗会の開催やサイクリングイベントの開催



プロジェクト 分類 12 湖面イベントの開催

フラワーバレー周辺の湖面を利用した新たなイベントを企画、開催し、上下流の交流の場として水源地域の魅力をアピールするとともに、周辺施設への集客等の波及効果をねらう。

分類 12-1 湖面巡視体験

着手時期 早期

概要 ポピー祭・コスモス祭の開催時に、巡視船を活用し『湖面巡視体験』を実施



ダム巡視体験

分類 12-2 カヌー教室

着手時期 早期

概要 一般や愛好家を対象として、フラワーバレー周辺においてカヌー教室を開催



カヌーの試走

分類 12-3 魚釣り大会

着手時期 後期

概要 志津見湖において、小堰堤への魚の放流なども検討し魚釣り大会を開催



「やまめの溪」での魚釣りの様子

分類 12-4 ラジコンボートレース大会

着手時期 中期

概要 志津見湖において、ラジコンボートによるレース大会を開催
中期では、レース大会開催に向けて、ラジコンボート体験を実施



ラジコンボート体験

プロジェクト 分類 13 志々のみどころ紹介

水源地域の観光情報や地元住民自慢の場所から地元住民のお勧めスポットまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップをつくる。

分類 13-1 手作りみどころ案内板

着手時期 中期

概要 素朴な看板や案内板を作成することによる地域の名所・見所などのアピール
中期では地域の名所、見所の一つである八福神などの案内板を設置



水源地域ビジョン案内看板の設置

分類 13-2 マップ(パンフレット)づくり

着手時期 早期

概要 水源地域の観光情報や地元住民自慢の場所から地元住民のお勧めスポットまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップの作成
中期では、八福神マップを作成



八福神マップ

分類 13-3 フォトコンテストの開催

着手時期 早期

概要 地区の見どころをテーマとしたフォトコンテストの開催



フォトコンテスト

プロジェクト 分類 14 田舎ツーリズムの展開

地域の自然や生活、食生活などを体験してもらい、地域への理解と人々の交流を促進する。

分類 14-1 田舎体験

着手時期 中期

概要 ・地域の自然や生活、食文化などの体験プログラムの作成
・クラインガルテンのラウベの活用や民泊システムを検討



田舎体験(田植え体験)

プロジェクト 分類 15 他地区との連携

他地区との連携を検討する。

分類 15-1 広域的な連携検討

着手時期 中期

概要 三瓶山や石見銀山、出雲市・雲南市、尾原ダムなど、広域的に連携した観光ルートの検討



尾原ダム

中期(平成27~29年度)の3年間の振り返り

I 水源地域の景観形成

- 企業CSRによる景観保全活動は年々参加者が増加し、定着を見せた。
- 家畜の放牧では、午や山羊の試験放牧を実施した。
- 「彩りの森」では、もみじの植栽や管理、ライトアップなどを行い、水源地域の景観形成につながった。

II 自然環境の保全活用

- 「自然体験イベント」や「森の学校サマーツアー」など関係団体と連携して実施した。

III 水源地域の活性化

- 青空市の活性化のための加工品を充実した。また、加工品(漬物)に関する講習会も実施した。
- 豆腐ムースや米粉サブレなどの特産品の開発を行った。また、ダム貯蔵酒「治酔」の試行販売も行った。
- 平成26年に「志々さくら広場」を整備し、毎年花見を行うなど地域の憩いの場となっている。

IV 地域の有する歴史文化の継承

- 家庭の味まつりは平成29年で13回目を迎え、定着しており、地域文化の継承につながっている。

V 水源地域のピーアール

- 八福神や明剣神社などの水源地域のみどころ紹介として案内板を13箇所設置した。

VI 上下流の交流

- 地域への理解と人々の交流を目的に島根大学の学生が獅子地区で田植え、草刈り、稲刈りなど、1年を通じた田舎体験を実施した。
- 「ポピー祭」、「コスモス祭」の日に行っている巡視体験やダム見学会などに多くの方が参加された。

入り込み実績

ポピー祭り／コスモス祭り
H27：5,500人／5,000人
H28：4,800人／5,000人
H29：4,300人／5,600人



家庭の味まつり



みどころ案内看板の設置



ダム見学会

後期(平成30~33年度)の4年間に向けて

I 水源地域の景観形成

- 中期までの景観保全活動では、事業者や地域住民が中心だったが、後期では地元団体への声かけや、ボランティア等の協力要請も検討する。
- 家畜の放牧では、中期に引き続き放牧による除草等の仕組みづくりを進め、貯水池内の荒れたゾーンの景観維持に取り組む。
- ライトアップでは、中期に引き続き集客力向上を目指し、地域経済への波及効果を高めるための取り組みを行う。

II 自然環境の保全活用

- 子供が学べる環境学習の機会を増やし、水源地域の自然環境の活用に取り組む。

III 水源地域の活性化

- 特産品の積極的な開発を継続し、商品化を目指す。
- 水源地域の自立的・持続的な活性化のため、水源地域の将来を話し合う「みらい会議」(仮称)などを開催する。

IV 地域の有する歴史文化の継承

- 地域住民が自由に遺物を閲覧できる機会をつくるなどの活用を検討する。
- ポピー祭・コスモス祭で民具の展示や実演を検討する。

V 水源地域のピーアール

- 中期で設置した「みどころ案内看板」を活用するなどして、水源地域の魅力をPRする。

VI 上下流の交流

- 中期に行った、田植えや、草刈り、稲刈りなどの体験を行う「田舎体験」を引き続き実施するとともに、地域住民の方と交流の機会を増やす取り組みを行う。
- サイクリングコースでは、既存の「飯南町サイクリングマップ(観光協会)」の活用を図る他、八福神めぐり等との連携を図り定着を目指す。
- 地元向け「ダム巡視体験」等を積極的に実施し、ダムへの理解促進を図る。
- 「志々ファンクラブ(フェイスブック)」によるイベント日程の早期周知など情報発信力の強化を図る。



志津見ダムライトアップ



八福神めぐりサイクリング

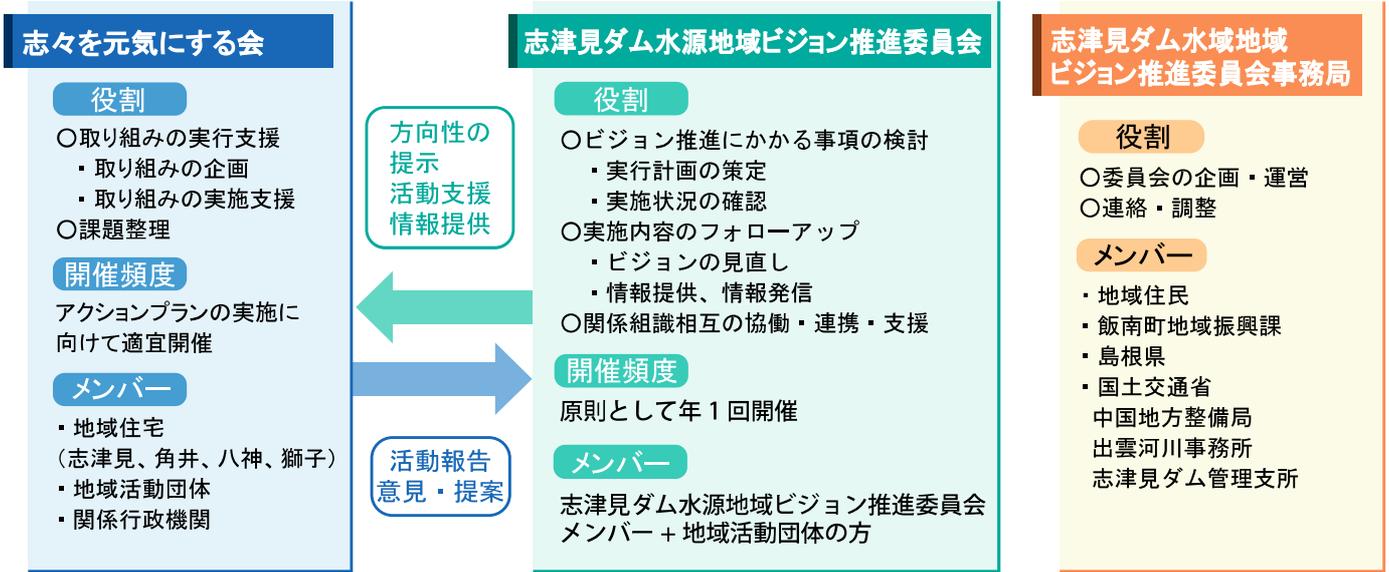


ダム巡視体験

4 推進体制

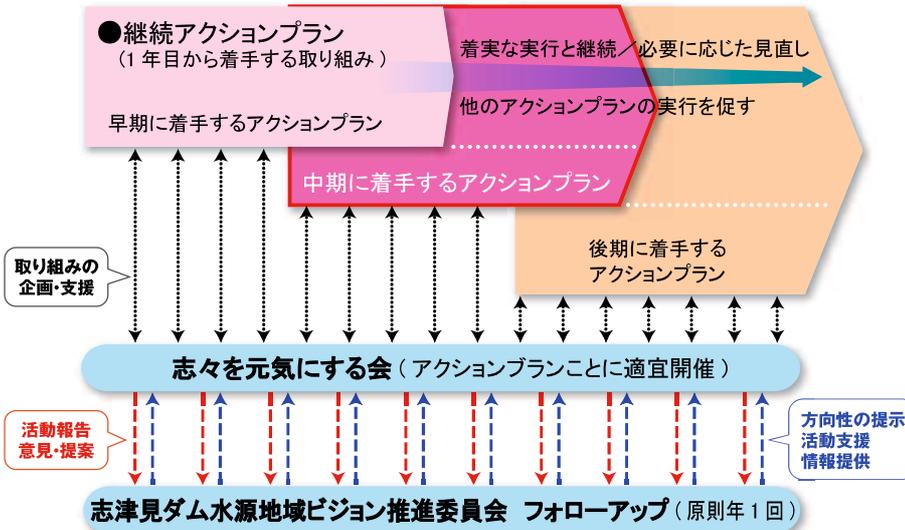
1 推進組織

志津見ダム水源地域ビジョンは、以下の組織により着実かつ円滑に推進します。



2 推進方法

段階的に取り組みを展開するビジョン推進のイメージ



1 アクションプランの進め方

「志々を元気にする会」が中心となって、早期及び中期、後期のアクションプランを段階的に展開していきます。

2 フォローアップの実施

推進委員会は、「志々を元気にする会」から、活動内容や課題などの報告をうけて、年度毎に『目標達成状況のチェック』、『効果』、『水源地域の満足度』を確認し、必要に応じて『ビジョンの修正、追加』をする等のフォローアップを行います。

3 広報活動の展開

推進委員会は、アクションプランの参加者募集などの広報、地域住民、流域の自治体、関係行政機関等への情報提供や活動への理解と協力の呼びかけを行います。

広報活動メニュー

- 関係機関等のホームページ(飯南町、島根県、国土交通省志津見ダム管理支所など)
- 「志津見ダム便り」による活動内容の報告(国土交通省志津見ダム管理支所)
- メディア(CATV 雲南夢ネット等)を通じた広報 など

笑顔と活気あふれるしあわせの里 ～志津見湖～

このタイトルは、地域の新たなシンボルである「志津見湖」で水源地域全体を表現し、地域の目標像のキーワードである「笑顔」と、地域の活性化のための行動計画・水源地域ビジョンから生まれる「活気」が結びつくことで、地域全体の「しあわせ」に繋がるという思いが込められています。

志津見ダム水源地域
ビジョン推進委員会
事務局

飯南町地域振興課
〒690-3513
島根県飯石郡飯南町下赤名 880 番地
電話 (0854)76-2864

島根県
〒690-8501
島根県松江市殿町8番地
電話 (0852)22-6307

国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所 志津見ダム管理支所
〒690-3314
島根県飯石郡飯南町角井 1891-20
電話 (0854)73-0222